

INTERVIEW

初心者テニス教室に通う3人に大会について伺いました。



必ず観戦に行きます。

中 十七波さん（中斉）

市町村合併により、WAVEのものが身近になりました。初心者テニス教室にも7月から参加しています。国際女子オープンには、ぜひとも観戦に行きたいと思っています。

町の発展に希望を感じます。



名竹英治さん（満泉寺）

昨年に引き続き開催されることに、対して大変うれしく思っています。同時に、町の発展に希望を感じています。年齢を問わず「見る」「行う」「教わる」ことを実践し町を活性化していきましょう。



大会を楽しみにしていました。

秋常祥江さん（中斉）

テニスを始めてまだわずかですが、大会を楽しみにしていました。プロのテクニックをじっくり見られる良いチャンスだと思いますので、絶対に観戦に行きます。

試合観戦のポイント？

部分部分で見ることおもしろい

昨年参加した波形選手や瀬間選手、浜村選手などは今年かなり活躍しています。今年も参加する予定なので注目の日本人選手だと思っています。

シャラポアがツアーに初優勝したのは能登と同じ規模の群馬の大会でした。次の年にはジャパンオープン、さらに次の年にウィンブルドンでの優勝です。能登国際で実際に見た選手がシャラポアのように将来大活躍するかもしれません。

たいです。昨年はアナウンスもなかったと聞いています。今年は選手の案内などもしっかりやって、今どんな選手が試合をしているのかなど、見ている人が楽しめるようにします。



昨年ダブルスで準優勝した田中真梨選手（左）と浜村夏美選手（日本ランキング10位）



今年のウィンブルドンに森田あゆみ選手とのダブルスで初出場した波形純理選手（日本ランキング6位）



7月の宮崎国際でクルム伊達公子選手とのダブルスで準優勝した米村知子選手（日本ランキング11位）

藤波運動公園

9月6日(土)～14日(日)

日本ランキング上位の選手や世界のトップを狙う若手女子プロが能登の地で熱い戦いを繰り広げる「JPTA 能登国際女子オープンテニス 2008」。今年の大会は昨年と何が違うのか、大会の見どころや観戦ポイントは？ 佐藤直子プロデューサーに話を聞いた。



プロデューサーの仕事は？

資金集めから、広報、イベントの企画、ポスターやプログラムなどの作成、会場の設営まで全てをやります。1月から毎月能登が金沢に来ていますが、特に能登はわが家のように感じるようになりまし。能登町の人たちと力を合わせてトーナメントをやるという強い気持ちを持っています。

少しでもたくさんの人に会場に来てもらえれば、苦勞は報われると思っています。

今大会のテーマは？

「人が集まるトーナメント」を目指しています。そして見るだけではなく、体験もできる。初めての人もボールに触ってもらったり、うまい人にはちゃんとしたレッスンもしたりして、とにかく楽しめる大会にし

テニスに触れて、選手と触れ合える 楽しいトーナメントにしたい――。

にとっては、その1球に人生がかかっているというのを理解してほしいと思います。

そして、ナイスショットには敵味方なく拍手をしてもらえれば試合が盛り上がりします。

町民の皆さんに

このトーナメントは能登町民の皆さんのトーナメントです。この規模の大会は金沢を含めてどこも欲しがっているんです。それがこの能登で開催されるというすばらしさを分かっていますね。

わたしはこの会場に能登の人が笑顔で来てくれることを夢見ています。参加する選手のレベルも昨年より高いですし、試合は見応えがあります。観戦は無料ですので、ぜひ会場に足を運んでください。

トーナメントスケジュール

日程	6日(土)	7日(日)	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)
試合	予選	予選	予選 D予選	予選 S1回戦 D1回戦	S1回戦 D1回戦	S2回戦 D準々決勝	S準々決勝 D準決勝	S準決勝 D決勝	S決勝

- ・S=シングルス D=ダブルス
- ・観戦時間は、1試合平均90分の計算で11日まで9:30から16:00ごろ、12日以降は10:00から。
- ・8日からはレッスン会や抽選会など気軽に参加できるイベントを毎日実施

【さとう・なおこ】

全豪オープンダブルス準優勝、ウィンブルドン出場17年などの実績をもつ世界的テニスプレーヤー。今大会で初めてトーナメントプロデューサーを務める。

JPTA 能登国際女子オープン



横綱、大関の迫力を 郷土力士に声援を

47 年ぶりとなる大相撲の巡業「大相撲能登場所」の開催が迫ってきました。今回、能登場所の担当親方に能登町ゆかりの阿武松親方（元関脇益荒雄）が決まり、持木町長と実行委員会が大会打ち合わせと地元力士の激励を兼ねて阿武松部屋を訪れました。

若手力士の熱気こもる阿武松部屋で、親方に能登場所への意気込みを伺いました。



阿武松親方
（元関脇益荒雄）
平成7年4月千葉県習志野市に阿武松部屋を開く。現役時代は「白いウルフ」のニックネームで三賞を5度受賞する。福岡県出身、47歳。

「阿武松親方にとって能登とは親方 能登は第6代横綱阿武松緑之助出身の地であり、わたしは12代目阿武松を襲名してからのご縁があります。部屋設立時から能登の皆さんにはお世話になっており、本当に感謝しています。」

「能登場所の見どころは親方 巡業と本場所の大きな違いは、力士とじかに触れ合うことができるということです。また、相撲甚句、初切りなど本場所では見られない催しもありますので、楽しんでもらうことができます。」

能登場所の観戦では「稽古」に注目してください。伸び盛りの力士が、どういう稽古をしているかぜひ見ていただきたいと思っています。

また石川県出身の力士、若手力士にも注目してください。

「町民の皆さんへメッセージを親方 能登では数十年ぶりの開催となりますので、皆さんに体育館へ足を運んでいただけたら幸いです。今回は能登出身の力士も何人も来ておりますので、応援をよろしくお願いします。」



郷土力士5人に 意気込みを聞きました！

- 1 しこ名 2 本名 3 出身地 4 年齢 5 所属部屋
- 6 名古屋場所での番付 7 得意技 8 目標とする力士
- 9 能登場所開催を聞いて 10 能登場所への意気込み
- 11 今後の目標



1 寺下（てらした） 2 寺下隆浩 3 崎山 4 24歳 5 阿武松部屋（平成19年春場所入門） 6 幕下32枚目 7 寄り 8 益荒雄関 9 生まれ育った大好きな能登で、力士として相撲を取れるということに胸が高鳴りました 10 応援してくださる皆さんへの感謝の気持ちを持って相撲を取りたいです。 11 関取になるという目標に向けて、まず体を鍛えて大きくすることに意識を置いて1日1日を頑張ります



1 松緑（まつみどり） 2 藪下哲也 3 宇出津 4 27歳 5 阿武松部屋（平成9年春場所入門） 6 幕下59枚目 7 右四つ 8 益荒雄関 9 地元で巡業があるなんて夢にも思いませんでした 10 お世話になった人や応援してくださる人に力士としての姿を見てもらい励みにしたい。そして恩返しができるようにがんばりたいです 11 早く十両になれるよう精進します



1 三瀬（みせ） 2 三瀬功太 3 崎山 4 19歳 5 玉ノ井部屋（平成19年春場所入門） 6 三段目93枚目 7 押し 8 栃東関 9 番付を少しでも上げて能登に行けたらと思いました 10 大相撲の生の迫力を伝えられるよう頑張ります 11 体を作って、番付を上げる



1 玉大輝（たまだいき） 2 久山 毅 3 宇出津 4 19歳 5 片男波部屋（平成19年春場所入門） 6 三段目35枚目 7 上手だし投げ 8 部屋の関取 9 まさか能登まで大相撲が来ると思ってなかったのびっくりしました。でもうれしかったです 10 恥ずかしくない相撲を見てもらいたいです 11 白星を重ねて、少しでも関取に近づけるよう頑張ります



1 能登櫻（のとざくら） 2 島 和也 3 宇出津 4 22歳 5 阿武松部屋（平成16年春場所入門） 6 三段目12枚目 7 押し 8 富士櫻関 9 驚きましたが、地元で相撲ができることをうれしく思います 10 多くの人に頑張っている姿を見せられるよう頑張ります 11 まずは幕下。そのための体作り、体重増加。

前売りチケット好評発売中！
詳しくは ☎62-3500（チケット販売専用電話）まで

社会人日本一の座に

社会人相撲の石川県代表として、国体や地方大会で活躍している坂下昭徳さん（能登町役場）が、7月27日に津幡町で行われた第39回全国選抜社会人相撲選手権津幡大会で個人優勝、団体2位の成績を収めた。

この大会は、実業団や各都道府県の代表が社会人日本一を競う地方大会の一つ。12月に開催される全日本選手権（この大会の優勝者が『アマチュア横綱』と呼ばれる）出場への登竜門でもある。

坂下さんは、個人決勝で昨年のアマチュア横綱である姫野孝（全大分）を寄り倒しで破り、

初めての栄冠を手にした。石川県勢の個人制覇は、6年ぶり3人目という快挙だ。

「いつもは緊張して力を出し切れないことが多いが、今回は体調が良くなかった分、結果を気にせず思い切りやれた」と今大会を振り返る坂下さん。個人戦のあとの団体戦でも全石川の大將として準優勝に貢献。個人戦だけでなく、団体戦でも負けなしの12戦全勝という快進撃をみせた。

「今回は自分のスタイルである組み相撲ではなく、前に出ることを心掛けた。個人戦の優勝で、団体戦でも絶対負けられないという気持ちになった」ということだ。

坂下さんは現在社会人4年目。普段の練習は週2回、松波中学校相撲部を指導しながら自身も練習を積み重ね、石川県のエースにまで成長してきた。

「年齢とともに筋力は落ちていく。その分、以前よりも考えて相撲をすることができるよう

になった」と分析する坂下さん。3年前から両ひざの靭帯（じんたい）に故障を抱えながら戦い続けてきた。

「医者からは手術をしなければ治らないと言われていた。今は筋肉をつけて補強するしかない」と厳しい表情で話す。

目指すはアマチュア横綱

社会人日本一のタイトルを手にした坂下さんの次の目標は、『アマチュア横綱』だ。今回の優勝で全日本選手権の出場がほぼ確実になった。秋には国体もある。「優勝したからといって自分が強くなるわけじゃない。これからも練習を積み重ねて、目の前の試合を一戦一戦大切に戦っていくだけ」と力強く語る。「優勝」の二文字は、自信にもなるし、プレッシャーにもなる。「今はプレッシャーの方が大きい」というが、今後の成長のためには必要不可欠な要素でもある。

「もつと強くなりたい」。

常に前を見続けるその姿勢がある限り、坂下さんが真の日本一として『国体優勝』や『アマチュア横綱』の栄冠を手にする日は近い。



【写真上】松波中学校相撲部を指導する坂下さん。全国大会直前でもあり指導にも熱が入る。
【写真右】週2回、社会人相撲の仲間と練習をする。ぶつかり合う乾いた音、飛び散る汗が練習の激しさを物語っていた。

【PROFILE】さかした・あきのり

中学1年から相撲を始め、金沢学院東高校を経て中央大学へ。大学時代は東日本大会で3度上位入賞。平成17年4月、能登町役場に採用され、社会人相撲の第一線で活躍する。

191㌢、125㌔。



全国選抜社会人相撲選手権津幡大会優勝

坂下昭徳さん

Sakashita Akinori 25歳・恋路



能登町立鵜川公民館
字鵜川 18-128 ☎ 67-1919
■地区世帯数 500 ■人口 1,309

公民館通信

こうみんかんつうしん

第14号

鵜川公民館編

県指定無形民俗文化財の「鵜川のイドリ祭り」や、勇壮な「にわか祭」の地としても有名な鵜川地区。今回は郷土愛にあふれる鵜川公民館を紹介します。

地域の声を集めて作る公民館活動

鵜川公民館の年間行事は「しんこう会」という会議で話し合いながら企画運営しています。この会は 11 ある各町内から選ばれたしんこう会長や各区長らで構成され、盆踊りや体育祭など数々の行事の前に開かれます。会議で地域の意見を集め、毎年嗜好を凝らした公民館事業が進められています。また、年間を通じて行われる趣味の教室やサークルも 20 種類と大変充実しています。

●鵜川公民館で楽しめる教室・サークル

教室サークル名	開催日	教室サークル名	開催日
鵜川歴史	第1・3水19:30	ソフトバレー (場所：鵜川中学校)	毎週金19:30
大正琴	第2・4水19:30	ラーゼ卓球	毎週水・金19:30
押し花	第3金19:30	書道	第1・3金19:30
ニューススポーツ	第1・3土9:00	俳句	第3土13:00
獅子舞	第2木19:30	ゲートボール (場所：鵜川地区)	第1・3土9:00
太極拳	第3火19:00	華道 (場所：七見集会所)	第2火19:30
小垣げんき (場所：小垣地区)	第2・4土13:30	ジャザサイズ(子ども)	毎週木16:00
伸生会手芸	第1・3土9:00	祭囃子(子ども)	第2・4金19:30
囲碁	毎週火・土13:00	RC 倶楽部	毎週火19:30
民謡	第3土19:30		
コーラス	第1・3木20:00		

公民館行事の中で最も盛大な行事は、毎年 11 月に開かれる「みのりの作品展・芸能発表会」です。館内には各サークルや一般からの芸術作品が並び、2 階ホールでは歌や踊りが披露され会場は大いに盛り上がります。



また、同じ会場では毎年「にわか武者絵コンクール」も開かれています。子どもたちが描いたにわか祭の武者絵が展示され、絵を通して郷土愛が育まれています。

時代に合わせ、地域住民の皆さんの生涯学習に対するニーズに応えながら活動が続けている鵜川公民館。新しいものを取り入れながらも、昔からの伝統を重んじて長年にわたり続けられている行事もあります。今年で 106 回目を迎える久田船長碑前祭は、顕彰会と公民館の合同で毎年 10 月 29 日に行われ、久田船長の勇姿を地域の誇りとして後世に語り伝えています。



沈没する船から一人でも多くの乗員乗客を守ろうと自らの命を犠牲にし、非常汽笛を鳴り響かせながら殉職した久田船長をしのぶ碑前祭

ふらっと立ち寄り井戸端会議

鵜川公民館は「いつも笑顔が集まる場所」「何か楽しいことがある場所」を目指しています。歴史ある行事をしっかりと受け継ぐことはもちろん、もっと地域に密着し、より多くの人に公民館活動に興味を持ってくれるよう新しいメニューを加えるなど日々努力を重ねています。

誰もが気軽に立ち寄り、よもやま話からも大切な故郷について考え、地域づくりへとつなげていく鵜川公民館。これからもこの空間から新しい発見が生まれ続けます。

公民館として参加している全国風あげ能登大会。七見出身の第 6 代横綱阿武松緑之助や久田船長など郷土の英雄を描いた六疊風を大空に舞上げる



うしつお斉市
9月13日～18日

ランプシェード(縄文焼)が照らす歩行者天国

のと地物市まつり

9月14日(日) 午後2時～9時

★弥榮太鼓ほか

- ① 14:00 ～ 14:30
- ② 15:50 ～ 16:20
- ③ 18:30 ～ 19:00



★保育所



キリコまつり
14:30 ～ 15:10

★宇出津小学校 鼓笛隊

15:10 ～ 15:50



★ごいた大会 16:00

★ジュニアダンス 16:20 ～ 17:00

★能都中・北辰高ブラスバンド演奏 17:00 ～ 18:00

★開会セレモニー 18:00 ～ 18:30

★カラオケ大会・歌謡ショー 19:00 ～ 20:30

出場者を募集しています。(先着 10 人)

★まんなか市、地物市、屋台村、模擬店 14:00 ～ 21:00

※開催時間は都合により変更になる場合があります。

☎能都商業振興協同組合 ☎ 62-2890

～商店街と港を縄文焼ランプシェードでつなぐ～

宇出津港灯リフェスティバル

午後6時～午後9時

倉本由美子(胡弓)ミニコンサート
〈時間〉19:30 ～
〈場所〉萬崎ドリーム広場
☎能登町商工会 ☎ 62-0181

イベント参加者募集

★イカダレース

優勝 2 万円
準優勝 1 万円
3 位 5 千円

★イカダデコレーションコンテスト

優勝 2 万円
準優勝 1 万円
3 位 5 千円



※両方参加したチームに参加賞 2 万円
両方優勝すると 6 万円！
イカダの大きさは自由、定員は 6 人以上です。ライフジャケットは貸し出しします。先着 15 艇(同時申し込みは抽選)

〈申し込み・問い合わせ先〉

能登町商工会青年部 ☎ 76-0066

FAX 76-00192

第21回

10月12日(日)

石川県漁業協同組合小木支所

■カラオケ大会

優勝 2 万円 準優勝 1 万円
3 位 5 千円

先着 20 人(当日の受け付けはしませんが原則 2 番までです。)

〈申し込み・問い合わせ先〉

イカす会事務局 ☎ 74-1341

◆第1回石川県イカ釣り大会

参加費 千円(傷害保険料込)

〈申し込み・問い合わせ先〉

ツリヨシ ☎ 72-0777、里磯 ☎ 74-1425、つり友 ☎ 62-3600 の各釣具店へ

▼第1回イカウォーク

内浦地区の 4 公民館からイカす会会場までウォーキングします。参加賞と食券が出ます。参加費 5 百円(傷害保険料込)

〈申し込み・問い合わせ先〉

小木公民館 ☎ 74-0194

「バイオエコ燃料能登」発足
地球に優しいクリーンな資源を

環境に配慮した燃料「ペレット」の生産などに取り組む住民グループ「バイオエコ燃料能登（NORA）」の研究所開所式が7月29日、神和住の工場跡地で行われました。この研究所では公益信託能登町エンデバーファンド21の助成を受けて購入したペレット製造機を利用し、エネルギー源として再利用できる植物などを使った新エネルギーの開発が進められています。

研究所長の高市範幸さんは「全国に有機資源を活用した地域おこしを発信したい」と意気込みを話しました。今後はもみ殻などを原料とした飼料や、肥料の研究も行われます。



1時間で約50㌔のペレットを生産する製造機

応急対策活動に関する協力協定書調印式
まさかの時に町を協力サポート

7月31日、能登町と石川県電気工事工業組合との「災害時の応急対策活動に関する協力協定書」調印式が能都庁舎で行われました。この協定の締結により、万が一自然災害の被災を受けた際には町民のライフラインである電力の復旧活動に迅速な対応が進められることになります。調印式に出席した米沢寛理事長は「現代は気候が凶暴化しています。何かあったときは県内480社が心を一つにして力添えします」とあいさつしました。

また、6月23日には北陸電気保安協会とも協定が結ばれており、応急対策業務の協力要請が行えるようになりました。



協定書にサインし調印を行う持木町長と米沢理事長(写真奥)

記念すべき第二の成人式を祝い声高らかに乾杯！



まほろば成人式
人生第二の青春は今この日から

50歳の節目を祝う「まほろば成人式」が8月15日、能都庁舎で行われ約160人が出席しました。この成人式には能都・鶴川・瑞穂・松波・小木・柳田の中学校の卒業生たちが集まり、旧友との再会に喜びの表情を見せていました。

式では実行委員長江端由爾さんが「町の歴史とともに歩んできた50年。この機会にもう一度ふるさとを思い起こしてください」と参加者にあいさつしました。各学校の卒業アルバムや写真がスクリーンに映し出されると会場は笑顔であふれ、最後は弥栄太鼓の勇ましい太鼓が会場に花を添えました。

恋路ふれあい体験農場ではジャガイモ掘りにも挑戦！



流山市・能登の自然体験学習ツアー
ここにしかない夏休みを探しに

能登町と災害応援協定を結ぶなど、友好を深めている千葉県流山市。一昨年から流山市の小学生を対象に行われている「自然体験学習ツアー」が、今年も7月28日からの4日間で行われ、28人が参加しました。このツアーには、思い出深い夏休みと一緒に過ごそうと町内の小学生11人も参加しました。

子どもたちは魚釣りや牛の乳絞り、能登青翔高校の施設見学やバーベキューと、貴重で楽しい体験メニューでお腹いっぱい能登の大自然を満喫することができたようです。この夏の出来事を思い出し、いつかまたこの地を訪れてくれるといいですね。

梅佳代さんが来庁
ふるさと大使からのふるさと納税



今年2月に能登町ふるさと大使に任命された能登町出身の写真家・梅佳代さんが8月21日、「ふるさと納税」のために能登町役場を訪れ、持木町長に寄付を手渡しました。梅佳代さんは「ふるさと能登町のために使ってください」と話し、受け取った持木

町長は「能登町の応援団として、寄付をいただきありがとうございました。大切に使います」とお礼の言葉を述べました。この後、能登町ふるさと大使の委嘱状を受け取った梅佳代さんは、駆けつけたマスコミの取材に笑顔とジョークで応えていました。

わく・ワーク体験
必撮仕事人 中学生の初仕事！

能都中学校の2年生69人が、8月5日から町内31カ所の事業所に分かれて職場体験を行いました。生徒たちは、慣れない環境で最初は少しとまどいながらも、一生懸命に保育所や病院、食堂などでさまざまな仕事を体験しました。

働くことの難しさやうれしさなどを体験するいい機会となった今回の職場体験。石川県水産総合センターの業務を体験した鈴ヶ嶺文乃さんは「初めは生臭かったけど慣れました。楽しいです」と話していました。これを機に、将来の仕事について関心や興味が高まるといいですね。



有線テレビのスタッフとして同級生の職場体験を取材

さよならパーティーでは音楽でみんなの心がひとつに



ドイツ青少年が能登町訪問
スポーツから生まれる国際交流

町スポーツ少年団能都支部とドイツ・バイエルン州のスポーツユーгентオーバープファルツ支部団との交流会は、8月8日から4日間の日程で行われました。この交流会は平成4年から毎年交互に団員を派遣し、受け入れは今年で9回目です。

参加した団員18人は8日、能都庁舎を訪れ持木町長を表敬訪問しました。歓迎と感謝の意味を込めたプレゼント交換が行われたあと、団員らはそれぞれのホームステイ先へと向かい、日本の家族との時間を過ごしました。最終日前夜にはホストファミリーも参加するパーティーが開かれ親睦を深めました。

8月

まちの出来事